

●アクションプラン一覧（変更後 令和6年度～）

…今回新規掲載となった事業

注）昨年度からの変更箇所は文字または図形の縁が赤色です。

※ 状況によって、アクションプランにない事業を実施する場合や、プランに定めた事業であっても、実施を見送る場合も考えられます。

基本方針	事業名	目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	期待される効果				
1. 情報発信	十和田市LINE公式アカウント活用事業	登録者5,000人	導入	運用・展開	
	▶ 市政情報検索のしやすさ向上、市政情報の発信強化、双方向の情報発信、24時間365日の申請受付、窓口混雑解消（機能改善・機能追加を随時実施）				
	公式YouTubeチャンネル活用事業	チャンネル登録者数800人	導入	運用・展開	
	▶ 動画による市政情報の発信強化				
2. 窓口改善	公共施設Wi-Fi整備事業	※導入時に設定		準備	導入
	▶ 公衆Wi-Fi回線サービスの拡大				
	窓口改善事業（おくやみ窓口）	住民満足度：「大変満足」選択率90%以上	導入	運用・展開	
	▶ 遺族の不安軽減、来庁時の待ち時間短縮、窓口を回る数の削減、何度も同じことを書く手間の軽減				
3. 健康増進・経済活性化	窓口改善事業（書かない窓口）	住民満足度：「大変満足」選択率90%以上	準備	導入	運用・展開
	▶ 来庁時の待ち時間短縮、窓口を回る数の削減、何度も同じことを書く手間の軽減				
	キャッシュレスセルフレジ導入事業	住民満足度：「大変満足」選択率90%以上		導入	運用・展開
	▶ 多様な支払い方法への対応による住民サービス向上、非接触の推進による感染症予防対策、支払時間の短縮による業務効率の向上				
4. デジタルデバイド対策	ウェアラブル機器活用事業	住民満足度：「大変満足」選択率90%以上	導入	運用・展開	
	▶ 運動機能の維持・向上、健康に関する意識向上、ポイント付与による地元の消費活動拡大				
	健康アプリ・健康とわだポイントラリー	アプリ実利用者数800人		導入	運用・展開
	▶ インセンティブ機能を実装した健康アプリを活用することで、ポイントラリーで楽しんでもらいながら働き盛り世代の健康増進を図る				
	デジタル地域通貨活用事業	※導入時に設定		調査・研究	
	▶ 地元の消費活動拡大				
5. 業務効率化	自治体マイナポイント活用事業	※導入時に設定		調査・研究	
	▶ マイナンバーカード取得率向上、キャッシュレス決済サービスの利用拡大				
	デジタル導入支援事業	予算額に対する総申請額の割合90%以上	導入	運用・展開	
	▶ 市内に事務所等を有する事業者が行うデジタル化につながる環境整備に対する補助				
5. 業務効率化	スマホ教室支援事業	住民満足度：「大変満足」選択率90%以上		開始	
	▶ 情報格差の解消				
	ふるさと出前きらめき講座	住民満足度：「大変満足」選択率90%以上		開始	
▶ 情報格差の解消					
5. 業務効率化	生成AI搭載チャットツール活用事業	※導入時に設定		導入	運用・展開
	▶ チャットツール及び生成AIの活用（職員同士の情報共有、アイデア出し、あいさつ原稿案作成等）により業務効率化を図る				
	標準準拠システムへの移行	システム移行完遂率：100% <small>(9課・20業務のシステム：～令和7年度末まで)</small>	準備	移行	運用・展開
	▶ セキュリティ高度化、サーバ等の共同利用によるコスト削減				
5. 業務効率化	RPA、AI-OCR等の展開	作業削減時間の現状維持		運用・展開	
	▶ 単純入力作業の時間削減				